



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE柏2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	三井不動産 総合技術アカデミー	階数	地上2F
建設地	千葉県柏市	構造	RC造
用途地域	準住居地域	平均居住人員	60 人
地域区分	6地域	年間使用時間	800 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2020年1月 予定	評価の実施日	2019年12月26日
敷地面積	4,360 m ²	作成者	松本 隆
建築面積	2,465 m ²	確認日	2019年12月26日
延床面積	4,468 m ²	確認者	篠塚 貴志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	73%
③ 上記+②以外の	73%
④ 上記+	73%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 4.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<p>柏の葉の景観や環境に配慮した研修施設</p>	<p>保水性のある建材の採用や地上や壁面への積極的な緑化により敷地外への熱的影響を極力減らすよう努めている。</p>	
<p>Q1 室内環境 各室内用途に合わせた空調・照明計画を実施。開口部にLow-e複層ガラスやルーバーを用いる事で熱負荷低減を行っている。</p>	<p>Q2 サービス性能 耐震性能の確保による安全安心の向上を図った計画。ゆとりある階高や搬出入経路の確保による、更新性の高い計画。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 周辺に十分な空地を取る事で周辺への圧迫感を減らす計画。ゆとりのある外部空間に積極的な緑化を実施、周辺環境に寄与できるよう努めている。</p>
<p>LR1 エネルギー モニタリング等、運用面での対応でエネルギー削減に努める計画。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル エコマーク建材や節水型の衛生器具の採用により資源の有効利用に努めている。</p>	<p>LR3 敷地外環境 建物を敷地からセットバックさせかつ低層とする事で周辺への日影の影響を極力少なくする計画としている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

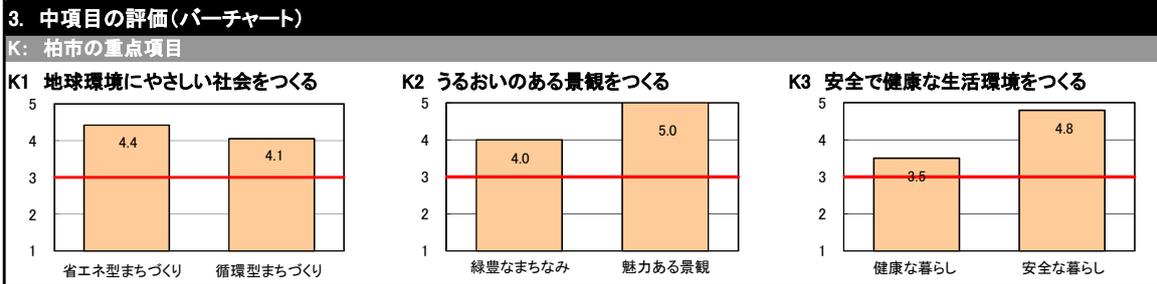


評価結果

■使用評価マニュアルCASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2016(v2.1)

1 建物概要		建築物の環境効率 (BEEランク)	S	★★★★★★
建物名称	三井不動産 総合技術アカデミー			

2 重点項目への取組み度		重点項目	取組み度 ※ (得点/満点)	評価結果
K1	地球環境にやさしい社会をつくる		4.2 / 5.0	すばらしい
K2	うるおいのある景観をつくる		4.5 / 5.0	すばらしい
K3	安全で健康な生活環境をつくる		4.1 / 5.0	すばらしい
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)		すばらしい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項		スコアシート
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる 開口部にはLow-e複層ガラスやルーバーを採用、外壁には断熱性能の高い断熱材を用いる事で熱負荷低減を図り、省エネ型まちづくりに貢献できるような計画に努めている。</p> <p>エコマーク建材の採用や、井水利用、衛生器具の節水化を行う事で、限りある資源の有効利用に努めている。</p>	<p>1. 省エネ型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 5.0 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 4.4 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 5.0 <p>2. 循環型まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 4.4 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 3.8 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 5.0 	
<p>K2 うるおいのある景観をつくる 北側前面の空地を積極的に緑化する事で、緑豊かな街並みに貢献するような計画に努めている。</p> <p>街区に対してゆとりある配置計画や高さを抑えたボリュームとする事で周辺への圧迫感を低減、魅力ある景観形成に努めている。</p>	<p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 4.0 <p>2. 魅力ある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 5.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 ○ 	
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる 適切な天井高さの設定や設備計画、F☆☆☆☆建材の積極的利用により快適で健康的な空間形成に努めている。</p> <p>耐震性能を向上させることで、安全安心な暮らしに貢献できるよう努めている。</p>	<p>1. 健康な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気質環境(Q1-4) スコア 4.0 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 3.0 <p>2. 安全な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.8 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 ○ 	